

【番組名】群馬テレビ「ビジネスジャーナル」

【放送日】2023年12月22日(金)

【テーマ】日銀短観でみる県内経済の足取り

(キャスター)『プラスオピニオン』のコーナー。日本銀行前橋支店長の肥後秀明さんに『日銀短観でみる県内経済の足取り』というテーマでお話をうかがいます。よろしくお願いいたします

(肥後支店長) よろしく申し上げます。日本銀行では、12月13日に「企業短期経済観測調査」——いわゆる日銀短観——を公表しました。日銀短観は、3か月に一度の調査で、全国では約1万社を対象に業況感や売上高などを調査しています。本日は、群馬県内の約180社を調査した結果をご説明します。

(キャスター) 前回の調査は9月でしたね。

(肥後支店長) はい。こちらをご覧ください。

| 最近の金融経済環境 | |
|-----------|--|
| 地域 | 出来事 |
| 米国 | (9月)政策金利変更なし (11月) " (12月) " |
| 欧州 | (9月)政策金利引き上げ 0.25% (10月)政策金利変更なし (12月) " |
| 中国 | (8月)政策金利引き下げ ▲0.15% (") 住宅ローン金利政策の修正 |
| 日本 | (半導体部品)供給不足が緩和 (為替相場)一時1ドル150円台へ(11月上旬) (消費者物価)3%台の伸びが続く |

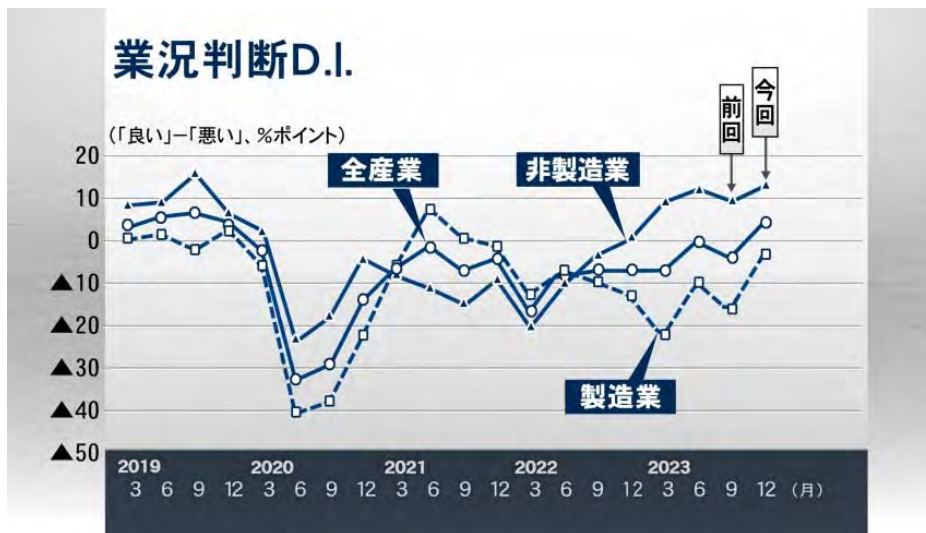
(肥後支店長) 前回の9月から今回の12月までの経済環境を振り返ってみたいと思います。米国ではインフレ率が低下し、政策金利の引き上げも一服しています。欧州での政策金利引き上げもペースダウンしていますが、ドイツを中心に経済活動はやや鈍化しています。一方、中国では経済の回復ペースが遅いため、政策金利を引き下げたほか、住宅ローン金利政策を修正して不動産市場への対応を強めています。堅調な米国経済と、成長が鈍化している欧州、そして回復の遅れが続く中国経済という違いが引き続きみられました。

(キャスター) 国内はいかがですか。

(肥後支店長) はい。国内では、半導体部品の不足が緩和し自動車の生産が増加しました。一方で、為替市場では11月上旬に1ドル150円台にまで円安が進んだあと、足もとは140円台前半に戻るといった動きの激しい展開になりました。この間、消費者物価指数は3%台の伸びが続きました。

(キャスター) そのような中で、今回の調査では、どのような特徴がみられましたか。

(肥後支店長) はい。こちらをご覧ください。これは、業況判断D.I.という指標です。今回は、製造業、非製造業ともに前回調査から改善し、全産業はマイナス5からプラス4になりました。全産業の業況判断D.I.がプラスになるのは、コロナ前の2019年12月調査以来4年振りです。



(キャスター) 全体的に改善していますが、その要因はなんでしょうか。

(肥後支店長) はい。次のフリップをご覧ください。

| | 前回 | 今回 | 変化幅 | 企業のコメント |
|-------------|-------|--------|-----|--|
| | 23/9月 | 23/12月 | | |
| 全産業 | ▲5 | 4 | +9 | |
| 製造業 | ▲18 | ▲4 | +14 | <ul style="list-style-type: none"> 自動車生産の回復(自動車、鉄鋼、非鉄金属) 外出機会の増加に伴う衣料品の需要増(繊維) |
| 非製造業 | 9 | 13 | +4 | <ul style="list-style-type: none"> 観光関連施設での値上げの進展(対個人サービス) 自動車生産の回復に伴い労働者派遣が増加(対事業所サービス) |

(肥後支店長) 製造業のD Iは、前回のマイナス 18 から、今回はマイナス 4 と、14 ポイント改善しました。半導体供給制約の緩和によって自動車生産が回復し、その効果が自動車以外の幅広い業種に波及しています。また、外出機会の増加に伴って衣料品の需要が戻っているとの声も聞かれています。

非製造業でも、観光関連施設での値上げの進展のほか、自動車生産の回復によって派遣労働者のニーズが増加しているとの声が聞かれており、D Iは前回のプラス 9 から、今回はプラス 13 と、4 ポイント改善しました。

(キャスター) 先行きについてはどうでしょうか。

(肥後支店長) はい。先行きについては、慎重な見方をしている企業が多いという結果になりました。こちらをご覧ください。

業況判断D.I.(今回→先行き)

| | 今回 | 先行き | 変化幅 | 企業のコメント |
|-------------|-----------|------------|-----------|---|
| | 23/12月 | 24/3月 | | |
| 全産業 | 4 | ▲1 | ▲5 | |
| 製造業 | ▲4 | ▲10 | ▲6 | <ul style="list-style-type: none"> ●自動車生産の堅調が持続するか不透明(非鉄金属) ●海外での地政学リスクによる 原材料費や光熱費の上昇を懸念(繊維) |
| 非製造業 | 13 | 8 | ▲5 | <ul style="list-style-type: none"> ●観光需要の盛り上がり落ち着く (宿泊・飲食サービス) ●人件費の上昇による収益悪化を懸念(運輸) |

(肥後支店長) 製造業では、今回のマイナス 4 から先行きはマイナス 10 と、悪化が見込まれています。現在堅調な自動車生産が今後も高水準を維持できるか不透明という声が聞かれたほか、海外で地政学リスクが高まっているため、原材料価格や光熱費の上昇を懸念する声も聞かれました。

非製造業の先行きも、プラス 13 からプラス 8 と、5 ポイント悪化する見込みです。コロナが収束して盛り上がった観光需要がそろそろ落ち着くのではないかとの見方や、人件費の上昇による収益の悪化を見込む先がみられています。

(キャスター) 先行きについては、慎重にみているようですね。

(肥後支店長) そうですね。こうした企業の慎重な見方は、販売価格を十分に上

げられていないことも影響していると思われます。

こちらをご覧ください。このグラフは、企業の仕入価格と販売価格について、「上昇」と回答した企業の割合から、「下落」と回答した企業の割合を引いた価格判断D Iの推移です。数字が大きいほど「上昇」の動きが強いことを示しています。



仕入価格D Iは、昨年9月の76をピークに低下傾向を辿っていますが、先行きも多くの企業が仕入価格の上昇を見込んでいます。

また、販売価格D Iは前回の27から今回は31と4ポイント上昇しましたが、先行きは24と低下する見込みです。仕入価格D Iと販売価格D Iの大きな差は先行きも続く見込みですので、コスト上昇分を価格転嫁できずに利益が悪化する企業は今後もみられると考えています。

(キャスター) 価格転嫁できている先とそうでない先で、特徴はありますか。

(肥後支店長) はい。次のフリップをご覧ください。

2023年度・計画

(前年比、%)

| | 売上高 | 経常利益 | 企業のコメント |
|-------------|-------------|--------------|--|
| 大企業 | 10.9 | 4.6 | <ul style="list-style-type: none"> 自動車生産の回復や為替円安の効果 新規出店の効果(小売) (輸送用機械) |
| 中堅企業 | 7.9 | ▲13.5 | <ul style="list-style-type: none"> 原材料費や光熱費の上昇 (窯業・土石、生産用機械) 人件費の上昇(金属製品) |
| 中小企業 | 3.8 | ▲5.3 | <ul style="list-style-type: none"> 原材料費や光熱費の上昇 (食料品、輸送用機械、建設、対事業所サービス) |

(肥後支店長) こちらは、2023年度の事業計画を企業規模別に集計したものです。**売上高**は、どの企業規模でも前年比プラスになっていますが、**経常利益**については、**大企業**はプラス4.6%の増益となっている一方、**中堅企業**、**中小企業**は、原材料費や光熱費、人件費の上昇から減益計画となっています。このことから、規模が小さい企業では、コスト高の影響から利益が悪化していることが窺われます。

(キャスター) このほか、注意すべき点がありますか。

(肥後支店長) はい。次のフリップをご覧ください。このグラフは、雇用人員について「過剰」と回答した企業の割合から、「不足」と回答した企業の割合を引いた雇用人員判断D.I.の推移です。数字が下がるほど、人員が「不足」している企業が多いことを示しています。今回の短観では、**製造業**、**非製造業**とも人手不足感が一段と強まっており、特に**非製造業**では、賃金の高い先への転職者が増えたという声や、先行きベテラン層が退職すると人手不足になるといった声が聞かれ、先行きも人手不足が深刻化すると予想されています。



(キャスター) それでは、最後に今回の短観結果についてまとめていただけますか。

(肥後支店長) はい。今回の短観では、自動車の生産回復の影響が幅広い業種で見られ、全般的な業況改善に繋がりました。自動車産業は裾野が広いいため、生産回復の効果が製造業だけでなく非製造業でも見られました。

一方、先行きは、自動車生産や観光需要のほか、海外の地政学リス

クや原材料価格の動向など様々な面で不透明と感じる企業が多く、先行きの業況予想は慎重です。

(キャスター)『プラスオピニオン』、「日銀短観でみる県内経済の足取り」をテーマに、日本銀行前橋支店長の肥後秀明さんにお話をうかがいました。ありがとうございました。

(肥後支店長) ありがとうございました。

以 上